

北星学園大学

後援会だより

vol.127

発行日 2016年12月1日
 発行者 北星学園大学
 後援会事務局
 札幌市厚別区大谷地西2
 丁目3番1号 〒004-8631
 電話 (011) 891-2731
 印刷 (社福) 北海道リハビリ



地区別

父母懇談会報告

地区別父母懇談会が終了しました!

地区別父母懇談会が今年も道内各地で行われ、10月22日の第2回札幌地区父母懇談会をもちまして今年度の地区別父母懇談会は無事終了いたしました。しかしながら釧路・帯広地区においては、台風の影響でやむなく中止となり、参加を予定されていたご父母の皆様にはご迷惑おかけしたことを深くお詫び申し上げます。

今年度は、全会場合計で450組近くの申し込みがあり(中止となった2地区を除く)、多くの方にご参加いただきました。全体会では大学の近況報告・修学関係についての説明があり、就職状況についての報告がありました。

地方会場を含むすべての会場で、学科教員による個別懇談や就職支援課職員による就職相談や受付しました。個別懇談までの待ち時間には、ご父母同士での情報交換やご相談する様子も見られました。ご父母の皆様にとっては、成績や就職関係のことなどお子様の大学生活について知る良い機会となったことと思います。

父母懇談会では毎回アンケートを実施しており、今年も多くのご感想や労いのお言葉をいただきました。ありがとうございました。なお、ご意見やご要望については、さらに



全体会の様子 (北見)

充実したに父母懇談会を開催できるように参考にさせていただきます。

来年度の日程は、決まり次第『後援会だより』や大学ホームページでお知らせいたします。多くの方のご参加をお待ちしております。

ご父母の皆様からのアンケートより

子供の単位状況や実習先での様子など細かくお話ししていただき、大学での様子がよくわかりとても安心しました。就職相談においてもとても親切に対応していただきありがとうございました。

(7月札幌)

初めて参加させていただきましたが、あまりわからなかった修得単位などを理解することができました。就職活動についても親の接し方など参考になりました。参加させていただいて良かったです。

(8月北見)

子供とはなかなか話さない進路相談ができ、本当に良かったです。公務員への進路など詳しく知ることができました。

(8月旭川)

毎回、参加させていただいておられます。直接先生に会って、子供の大学での様子を知ることができて良かったです。

(8月旭川)

4年間参加させていただきましたが、毎回様々な情報を得られ、有意義な時間を過ごさせていただきました。他の保護者の方とお話しすることもでき、貴重な会だと思っております。ありがとうございました。

(9月函館)

札幌から離れているので、大学



個別懇談の様子 (旭川)

の情報を色々教えていただき感謝です。来年も参加させていただきますと思います。

(9月函館)

個別懇談でも丁寧に対応していただき親として本当にありがたかったです。4年間毎年出席させていただきましたが、毎年、元氣と勇気をいただきました。

(9月苫小牧)

大学の施設を拝見し、とても恵まれた環境で勉強しているのがわかりました。成績について不安もありましたが、個別懇談でお話を聞き安心しました。

(10月札幌)

★ 星学祭を終えて ★

第55回大学祭実行委員会
委員長 松本 美羽

今年度の星学祭は天候に恵まれず、ご来場いただいた皆様にはイベント等の場所の変更でご迷惑をおかけしました。しかし、関係者の方々の多大なご支援とご協力のおかげで大盛況のうちに無事終了することが

できました。今年はセンター棟でイベントを行ったり、模擬店の間やA館C館に休憩スペースを確保したりとお客様に楽しんでもらえるよう尽力いたしました。

今年のアーティストライブはDios、シナリオアートの2組にお越しいただき、ライブは大盛り上がりでした。気温が低く寒い中、2日間通して約3700名の方々にお越しいただきました。

今年度の星学祭のスローガンは「一祭合彩」です。このスローガンの元になった四字熟語「一切合切」には、なにもかもすべて、や、残らずみな、といった意味があります。これらを元に、北星学園大学のお祭りである星学祭のすべてを全力で楽しもう、そして、星学祭で一人ひとりの彩(いろ)個性をみつけよう、という思いを込め、このスローガンを採用しました。スローガンに込められた思い通り、模擬店や例年行っているよさこい、子供から大人まで楽しめるもちまき、その他にも飛び入りで参加できるイベントなどにより、

多くの方に喜んでいただけたと感じております。

最後になりましたが、大学後援会からも「北星学園大学のサポーター」としてご協力していただいたことに、厚くお礼申し上げます。そして今年度の星学祭の反省を踏まえ、来年度はより一層みなさまに楽しんでもらえるよう、大学祭実行委員会一同努力してまいりますので、これからも皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



台湾からの留学生によるゲーム (地域の子どもたちと)

卒業記念祝賀会のご案内

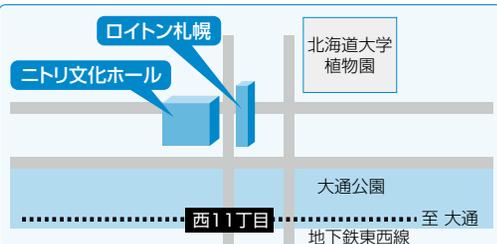
2016年度卒業式・卒業記念祝賀会が下記のとおり挙行されますので、ご案内いたします。ご父母の方も是非ご出席ください。

卒業式

日時: 2017年3月15日(水)
 全学部 13:00予定
 場所: ニトリ文化ホール(さっぽろ芸術文化の館)
 (札幌市中央区北1条西12丁目)

卒業記念祝賀会

日時: 2017年3月15日(水)
 全学部 16:30予定
 場所: ホテルロイトン札幌
 (札幌市中央区北1条西11丁目)



内定先
全日本空輸株式会社



文学部
英文学科
上草はるな

就職活動を通じて、私
学んだことは、自分の中
常識に捉われすぎてはいけ
ないということ。その
根拠を2つ述べます。

まず1つ目は、自分のイ
メージだけで、ある業界の
良悪を判断するのは損して
います。例えば、証券会社
に対しては、あまり良いイ
メージを持っていませんで
した。しかし、インターン
に参加すると、経済活動に

私は、3年生の時初めて
学校で開かれていた航空講
座に参加し、この講座が
きっかけで本格的に航空業
界を目指し始めました。講
座では基本的な身だしなみ
から客室乗務員に必要な素
養など細かいことまで学ぶ
ことができました。

そして就職活動が本格
的に始まった3月、自分
のやりたいことは何か、
どんなことを仕事にした
いのかをもう一度考える
ため、航空業界に限らず
できるだけ多くの説明会

内定先
アイビー・エム・ソリユー
ソリューションズ株式会社



経済学部
経営情報学科
太田 裕起

不可欠な存在だと気付きま
した。その経験もあって、
悪いイメージを持っていた
ほかの業界にも触れるよう
になりました。それが今の
内定先に繋がっています。

2つ目は、自分の能力で
可能性を狭めてはいけませ
ん。私は耳に障がいを持っ
ています。私の中の常識は
「耳が悪いからできない」
です。それでは可能性を狭
めてしまうので、本当に自
分がやりたいことに重点を
置きました。そこから就職
活動が楽に進みました。今

では、「耳が悪くても、でき
ることを証明するぞー」と
いう気持ちになりました。
チャレンジャー精神を
持っていたのもよかったで
す。就職活動の成功の鍵は、

に参加しました。そうす
ることで自然と目指す業
界が絞れ、航空業界で客
室乗務員として働きたい
という思いを再確認する
ことができました。

選考が始まり一番感じ
たことは、自分の思いを
相手に伝えることと自分
をアピールすることの難
しさです。伝えるために
はその会社の知識が必要
なので、企業のホームページ
や説明会の資料だけで

なくニュースや書籍から
も企業の情報や特徴を勉
強しました。自己PRは、
家族や友人に聞いたり、
今までの人生を振り返っ
たりして自分の良さを探
しました。自分を知ると
ても良い機会だったと感
じています。客室乗務職
は接客業なので話す内容
だけではなく、面接時の

自己分析です。私が2年
生の時に、インターンに参
加したことや学内企業セミ
ナーでの手伝いの様子を就
職支援課の方がしっかりと
見てくれていました。それ
が自分の強みを見つける鍵
になりました。

就職活動

苦労して内定
を手にした学生の
体験談を紹介します。
ぜひ参考にさせて
ください。

体験談

面接ではマニュアル通り
の質問は出ないと感じます。
それを乗り越えるためには、
学生生活で経験したことが
大事になります。今まで経
験したことを信じて、さら
に就職支援課を活用して就
職活動に挑んでください。

就職活動を終えて気づい
たことはたくさんあります。
あったからこそ、内定をい
ただけたということです。
私は2月から就職活動とし
てインターンシップに参加
したり、幾つかの会社を受

内定先
社会福祉法人
池田町社会福祉協議会



社会福祉学部
福祉計画学科
吉田 直人

就職活動は自分のペー
スで進めていくことが大切
です。人生の分岐点とも言
える就職活動を周りに合わ
せ

雰囲気や言葉遣いなどに
も注意を向ける必要があ
るので、笑顔や言葉遣い、
姿勢などは自然と自分の
ものになるように普段か
ら意識して生活すること
を心がけていました。

積み上げてきた努力と強
い思いは必ず伝わりませ
ん。自分のペースを大切に、
自分の経験に自信をもって充
実した就職活動にしてくだ
さい。

内定先
トヨタ自動車北海道



短期大学部
生活創造学科
千代 望

けたり、早めに活動してい
ました。明確な理想の社
会人像がなく上手く就職活
動を進めることが出来ませ
んでした。私は今までに大
きな挫折もなく過ごしてき
ましたが、この就職活動は
自分の中で大きな挫折とな
り、精神的にも身体的にも
追い詰められました。しか
し、そこで家族に初めて詳
しく就職について相談する
ことで、もやもやしていた
自分の中の悩みが解決
し、「必ずここに就職し働
きたい」という思いが込
み上げ、その思いが会社に
も伝わり内定をいただくこ
とが出来ました。就職支援
課に通い続けたこともポイ
ントです。内定をいただい

て始めたり、急いで内定を
もらいに行ったりする必要は
ありません。福祉現場（主
に社会福祉協議会等）の求
人募集がかかる時期は、公
務員や民間企業に比べて遅
い場合が多く、焦りを感じ
てしまうことがあると思いま
す。しかし、遅かれ早かれ
必ずチャンスは訪れます。重
要なのは、その瞬間に万全の
状態で挑めるかどうかです。
ポイントはいかに「味方」
を見つけ「仲間」を作るか
です。私は、福祉施設の集
まる合同説明会には、でき
るだけ足を運びました。理
由は、顔を覚えてもらうた
めです。人脈というものは
どこで広がっているかわかり
ません。私は、複数の施設
の方からは、会えば声をか
けていただき、中には就職
活動をメールで応援してく
ださる方もいて、良い関係
性を築くことができました。

た会社は就職支援課の方の
勧めで受けることを決めま
した。受けるまでに履歴書
の添削や面接練習など教わ
ることはたくさんありまし
た。自分の力だけで就職活
動するのはなく家族や就
職支援課を頼って活動する
ことも、自分の考えとは異
なった新しい発見につなが
るのでお勧めです。就職活
動と聞くと不安なことが多
いと思います。私も不安な
日々を過ごしていましたが
焦らず自分のペースでゆっ
くり進めることで内定をい
ただくことができました。
必ず自分のカラーに合った
企業を見つけることができ
るはず。応援していま
す。

そして、就職支援課の方々
同じ志を持つ友人に不安や
悩みは相談し、一人で問題を
抱えることはしませんでした。
多くの「味方」と「仲間」
がいてこそ、就職活動はより
良い方向へと進んでいくのだ
と思います。

最後に面接に関してアド
バイスです。福祉現場の多
くは「人柄」と「コミュニケー
ション能力」を重視してくる
と思います。私は、実践的
な面接練習は一度しか行いま
せんでした。正直、本番で
棒読みになるのが怖かったか
らです。当日は、面接とは
言え、職員の方々と「会話」
をしに行くくらいのイメージ
で挑みました。この方が、本
来の自分が出せるので私は
良いと思います。最後にな
りますが、就職活動を行う
皆さん、自分らしさを忘れ
ずに夢に向かって進んでい
てください。

今年も中国、韓国、台湾
の協定校の学生を本学に招
き、東アジア学生交流プロ
グラム（East Asia Students
Communication program
通称「EASCOM」）が10月
23日から11月2日までの日
程で開催されました。

このプログラムは、1995
年、本学の国際交流30周年
を機に、教育交流協定校で
ある中国の大連外国語大学
の学生を招へいたことから
始まりました。その後、国
際交流を活発化し、現在は
韓国のカトリック大学校、台
湾の東海大学の日本語学科
の学生たち総勢15名をキャ
ンパスに招いて実施していま
す。

企画は、本学学生による
実行委員会がプログラムを
実施しています。

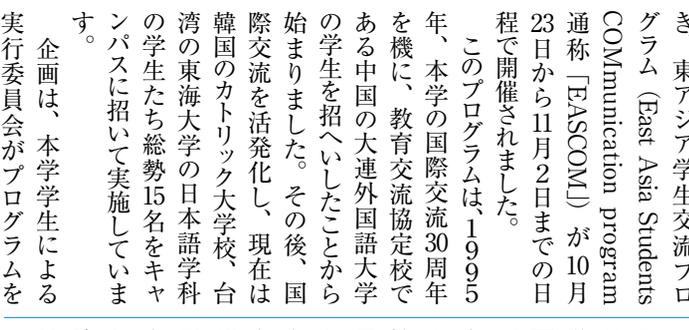
検討、実施しています。本
学キャンパス内で行われた
「アジア舞台」では各国の食
事文化、観光紹介のほか学
生たちが練習を重ねた優美
な舞やかわいらしいダンスが
披露されました。また、各
国の料理が格安で振る舞わ
れる「アジア屋台」は例年
大人気です。この他、留学
生と本学の学生は「アジア
ディスカッション」で議論を
深めたり、本学の授業や「日
本の文化」特別講義を受講
しました。このほか小学校
訪問、ヨサコイ体験、1泊2
日のインターナショナルキャ
ンプなど盛りだくさんの行
事に参加して学生
同士の交流を深め
ていきました。

当プログラムは
アジア各国の政治
情勢が難しい時期
だからこそ、重要
な意味ある活動と
なっており、後援
会様のご高配とご
支援に感謝申しあ
げます。

川島 善孝
国際教育課



アジア屋台 開店を記念して留学生集合



アジア舞台上で中国舞踊を披露する留学生

EASCOM
2016年度
東アジア学生交流
プログラム報告



アジア舞台上で中国舞踊を披露する留学生

『きのとや×北星学園大学』コラボスイーツ 北星オリジナルクッキーが完成!

2016年9月、北星学園大学と札幌の人気洋菓子店「きのとや」とのコラボレーションスイーツ「北星オリジナルクッキー」が完成しました。

この企画は、本学の卒業生で(株)きのとや 専務取締役である中田英史さんの「母校に貢献したい」というご厚意により実現したものです。

昨年秋に中田さんと本学広報課(現:IR広報戦略室)との間で行われた協議内容に基づき、今年6月に学生広報委員会*で「きのとやオリジナルお菓子製作プロジェクト」が発足。有志学生3名とIR広報戦略室スタッフがアイディアを出し合いながら商品化を進めてきました。

北星オリジナルクッキーは、きのとやの人気商品である「南郷通り」をベースに商品化しました。南郷通りはきのとや発祥の地であり、本学の立地にも縁が深い地名です。クッキーの表面には、大学の校章を始めとした2種のオリジナルロゴが印字されています。センター棟1階のカフェ「NORTH STAR CAFE Sarah」及び大学生協購買で販売しています。ご父母の皆様にもご購入いただけますので、どうぞお気軽に大学に足をお運びください。

*学生広報委員とは、学生の目線から北星学園大学の魅力を発信することを目的とした広報活動を行うボランティアの学生です。



北星オリジナルクッキー

学会・学部学科主催事業報告

「大学英語教育学会 第55回 (2016年度) 国際大会」を終えて

経済学部 教授 中屋 晃

北星学園大学後援会による学会費用のご支援をいただき、外国語教育の分野ではかなり大規模な国際大会を9月1日~3日の期間で本学において無事開催することができました。お陰様で、大会期間中に招待講演1件、シンポジウム1件、ワークショップ1件、グローバルポスター発表5件などを大学英語教育学会(JACET)北海道支部の企画として別枠で行ない、地方における今後の英語教育の可能性を探る有意義な取り組みとなりました。

大会プログラムでは、台風10号の影響にもかかわらず850名を超える参加者を集め、基調講演3件、招待講演12件、シンポジウム18件、特別委員会報告1件、研究発表82件、事例研究・実践報告46件、ワークショップ9件、賛助会員発表13件などがありました。ポスター発表については、一般枠で13件、JACET研究会で27件、新人枠で7件ありました。大会テーマは「ボーダーレス時代における英語教育をデザインする」で、基調講演者としてトロント大学のニナ・スパダ氏、香港理工大学のケイ・チョン氏、東京外国語大学の投野由紀夫氏を迎え、それぞれが専門とする応用言語学、観光サービス、コーパス言語学の広い見地に立った講演を聴くことができ、500名まで収容できる50周年記念ホールが熱気に包まれました。

大会の運営にあたっては、開会式で会場校代表挨拶をして頂いた田村信一学長と、教室や設備の使用で便宜をはかって頂いた大学当局に大変お世話になりました。また、会場の設営、機器の準備、受付、大会イベントの進行補佐など本学短期大学部英文学科の学生を中心に担当してもらいましたが、対応が非常に良かったと参加者から高い評価を受けております。最後に、大学後援会を始め関係した皆様の多大なるご支援に心より感謝申し上げます。



セントオラフ大学との教員・学生間交流を通じて

経済学部 准教授 野原 克仁

この度は、北星学園大学後援会から事業補助の助成金のご支援を賜り、2016年6月5日から13日まで9日間、アメリカのセントオラフ大学から教員2名、学生5名を迎え入れ、環境問題に関連する様々な活動を行うことができました。

野原ゼミの学生を2014年11月に2名、2016年2月に3名同行し、アメリカのミネソタ州にあるセントオラフ大学を訪問し、環境問題関連の講義の受講や循環型社会に配慮したエコキャンパスの見学等を行ってきました。環境問題の中でも、日米のエコツーリズムの違いや日本の中山間地域における持続可能な農業に関して、教員間の研究交流のみならず学生間でも交流を図るため、2016年6月にセントオラフ大学から教員と学生を迎え入れました。6月6日から本格的に交流をスタートし、環境経済学の聴講、野原ゼミの学生とのディスカッション、円山にてガイドをつけたエコツーリズム体験、北海道の文化を学ぶため開拓の村を見学、札幌市職員を招き札幌市の再エネに関する講演の聴講、国際ラウンジでの研究発表会、野原ゼミの取り組みの一環である学食の食べ残しを堆肥化し排出した二酸化炭素は植林でオフセットするという持続可能な農法により育てた野菜の収穫体験、美唄市において米農家やアスパラ農家およびJA美唄の雪蔵見学などを行いました。また、毎晩夕食は本学のKirariのキッチンを借りて、日本食を味わってもらうとともに地産地消についても学ぶため、趣向を凝らした料理をふるまいました。6月11日からは福島県山都町に場所を移し、新潟国際情報大学の教員とゼミ生も交え、現地農家へのヒアリングやディスカッションを行いました。

これらの活動を通じ、日米間のエコツーリズムの相違点や持続可能な農業について、学生は今までにない経験から多くの知見を得ることができました。学生にとってその学習効果は、非常に大きかったと思われます。

最後に、無事セントオラフ大学の教員と学生を迎え入れることができたのは、社会連携課、国際教育課、学生生活支援課の方々、大学後援会から多大なるご支援を頂いたおかげです。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。



新潟国際情報大学も交えて福島県山都町にて

コンサート・講演会報告

◆保田紀子パイプオルガンコンサート

10月2日(日) 14時から、本学チャペルにて『保田紀子パイプオルガンコンサート ドイツ・オルガン音楽の伝統バロック・ロマン派・現代』が開催されました。

当日は秋晴れのよい天気恵まれ、地域の方を中心に177名の方が来場してください、パイプオルガンの神聖な響きに会場が包まれました。



パイプオルガンの音色に耳を傾ける来場の皆様

保田さんは元松本市音楽文化ホールの専属オルガニストで、J.S. バッハやJ. ブラームスの宗教曲などを中心に演奏されました。

アンコールでは、バッハのオルガン曲で有名な「主よ人の望みの喜びよ」と「トッカータとフーガニ短調」が演奏され、コンサートは華々しく終了いたしました。

◆「南極料理人」西村淳講演会

10月29日(土) 14時から、本学図書館棟4階にて『西村淳講演会 知らない世界の話をしよう〜南極の厳しい自然と人間模様と食〜』が開催されました。強風で寒い日でしたが、地域の方を中心に130名の方が来場してくださいました。

西村淳さんは、二度の南極観測隊員を経験され、特に1997年からの第38次隊では、地球上最も苛酷といわれる平均気温氷点下57℃の「ドームふじ基地」で越冬されました。

その南極での厳しい様々な体験を、ユーモアたっぷりに紹介してください、会場は笑いが絶えませんでした。



西村さんの楽しいトークに、会場は笑いの渦に包まれました！

また、人が生きるために大切な食のこと、人を笑顔にできる神様からいただいた魔法のことなど、厳しい南極の経験が語られる人生の指針をたくさん教えていただきました。

講演の最後には「南極のオーロラ」や「南十字星がまたたく南極の夜空」が真っ暗な会場に映し出され、神秘的な南極を体験することもできました。

全国大会出場報告

男子バレーボール部

園田 優斗

私たち男子バレーボール部は、今年の6月23日に東京の墨田区総合体育館で行われた、東日本バレーボール大学選手権大会に出場しました。この大会は、参加が自由のため北海道で3部2位の私たちも出場することができました。

トーナメント形式で行われるこの大会で私たちは、同じ北海道で1部1位であ

る東海大学札幌校舎と初戦に当たりました。同じリーグのチームとは初戦には当たらないはずでしたが、手違いでこのような形になってしまいました。しかし、私たちは力の差を知りたい機会だと考え、前向きに試合に臨みました。結果は、25-9、25-7、25-12でストレート負けでした。1部の1位とはここまで差があるのかと正直ショックを隠せませんでした。私たちは日頃から1部を目指して練習に励んできましたが、バレーボールに対する姿勢から変えていかなくてはならないと強く感じました。

これからは、週4日の練習の中で、どれだけ真摯にバレーボールに向き合っているか、そして今回感じたレベルの差を少しでも埋められるように努力をします。

今回東京で大会に臨むにあたって、ご支援してくださった後援会の皆様、ありがとうございました。今後ともご支援と応援宜しくお願いいたします。



試合の様子

スミス・ミッションセンターからのお知らせ

チャペル・クリスマスイベント 2016

【クリスマスツリー点灯式】

日時：12月1日(木) 18:00~18:30
会場：B館玄関前(チャペル横)

点灯：田村 信一 学長 司式：SMC学生団体ミューズ
演奏：チャペル・クワイア、NSBC(ゴスペル)

【クリスマスチャペルコンサート】

日時：12月14日(水) 12:10~12:50
会場：北星学園大学チャペル

演奏：吉村 美穂(クリスチャンシンガー) & チャペル・クワイア

【クリスマス礼拝(キャンドルサービス)】

日時：12月16日(金) 16:30~17:50
会場：北星学園大学チャペル

メッセージ：有澤 達朗氏
(北星学園大学文学部英文学科卒業生、タイ国派遣宣教師)
司式：日高 嘉彦(チャペレン)
奏楽：米本 悦子(オルガニスト)
演奏：チャペル・クワイア、ハンドベル・クワイア、NSBC(ゴスペル)

【ハンドベル・クワイア クリスマスチャペルコンサート】

日時：12月23日(金・祝) 14:00~
会場：北星学園大学チャペル
演奏：ハンドベル・クワイア(本学学生・OG)

ともに入場無料・申込不要です。
お問い合わせ：総務人事課 011-891-2731
(内線4376 担当：佐々木) まで

コンサートのお知らせ

◆工藤 重典 フルートコンサート

日時：12月11日(日) 開場13時30分 開演14時
会場：北星学園大学チャペル
出演者：工藤 重典(フルート)

札幌生まれ。桐朋学園を経て、ランバルに師事し、1979年パリ音楽院を首席で卒業。第2回パリ国際フルートコンクールおよび第1回J.P.ランバル国際フルートコンクール優勝。世界40か国以上で一流オーケストラと共演。現在、東京音楽大学、パリ・エコール・ノルマルほかで教授を務める。村松賞など多くの受賞歴がある。

演奏曲目：
クレメンティ…ソナタ ト長調 作品2-3
モーツァルト…ソナタ イ長調 K.305
シューベルト…ソナチネ 第1番 二長調 D.384
ベートーベン…機械時計のためのアダージョ 他

※入場無料・申込必要
申込先(同窓会事務局) 011-891-2731
受付期間：12月9日(金)まで



工藤 重典さん(フルート)

今年北海道を直撃した数回の台風により、道内各地に甚大な被害が発生しました。その影響により、9月に予定していました釧路地区と帯広地区の父母懇談会はやむを得ず中止とさせていただきます。参加を予定されていたご父母の皆様にはご迷惑おかけしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

道内では、今もなお、交通機関など復旧していない地域があり、不便な生活をされているご父母の方々もいらっしゃると思われまます。被災された方々の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

(後援会事務局 西藤・大津)

北星学園大学
教育振興寄付金で芳名
募金のご協力に深く感謝申し上げます。
2016年7月1日から10月3日まで (敬称略)

☆大学・短期大学部
(父母一般・旧教員・理事)

山田 みほ	須田 理恵	三浦 文敬
下村 浩美	中野 裕恵	丹野千枝美
石橋 慶健	戸澤 和彦	渡辺 誠二
佐藤 隆	堀 正樹	鷺見 直人
スミス会代表 佐々木光晴		
上野 武治	大山 綱夫	